

藤沢市教育委員会定例会(10月)会議録

日 時 2003年10月10日(金)午後2時  
場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
  - (1)平成15年9月藤沢市議会定例会の開催結果について
  - (2)情報公開請求について
- 5 議 事
  - (1)議案第25号 藤沢市社会教育委員の委嘱について
  - (2)議案第26号 平成15年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定について
- 6 その他
  - 2学期制について
- 7 閉 会

出席委員

1番	中 村	喬
2番	數 野	隆 人
3番	開 沼	佳 子
4番	平 岡	法 子
5番	川 島	一 明

出席事務局職員

教育総務部長	小 野 晴 弘	生涯学習部長	福 島 勝 也
教育総務部参事	種 部 弘	生涯学習部参事	齋 藤 潔
生涯学習部参事	関 根 克 尚	生涯学習部参事	植 木 正 敏
生涯学習部参事	田 中 正 男	生涯学習部参事	渡 辺 恭 博
学務課長	飯 島 広 美	学校教育課長	新 井 泰 春
保健給食課長	安 田 俊 郎	学校施設課長	尾 嶋 良 二
総合市民図書館主幹	宇田川 ひろみ		
書記	大 橋 久 高	書記	櫻 井 範 幸

午後2時00分 開会

委員長 　　ただいまから藤沢市教育委員会10月定例会を開会いたします。

÷÷÷

委員長 　　はじめに本日の会議録に署名する委員は1番 中村委員、2番 數野委員にお願い  
したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 　　それでは、本日の会議録に署名する委員は1番 中村委員、2番 數野委員にお  
願いいたします。

÷÷÷

委員長 　　次に、前回の会議録の確認をお願いいたします。何かありますか。特にないよう  
ですので、このとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 　　それでは、このとおり承認することに決定いたします。

÷÷÷

委員 　　私は議案第26号平成15年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定につ  
いては、会議を公開することによりまして、プライバシーを侵害するおそれがあ  
り、また意思決定過程の情報で、表彰にかかる事務の適正な執行に支障を生じるお  
それがあると思いますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6  
項ただし書に該当する事件に当たるとしますので、非公開での審議とするよう発  
議いたします。



説明し、シックスクール対策につきましては、改修工事を行う際、ホルムアルデヒドなどの化学物質が発生しないよう注意をしており、今後個々の児童生徒に応じた対策を研究していく旨の答弁をさせていただきました。次に、保護者の声を学校運営にどのように反映しているかのご質問ということで、教育委員会に寄せられる保護者の意見や要望はふえており、指導主事等が学校に事実を確認したり、指導や助言を行って対応しておりますことを答弁させていただきました。次に、奨学金制度全般についてのご質問ということで、選考の方法は市民、学校長により構成しております藤沢市奨学生選考委員会において、経済的理由、学業成績、家庭の状況などを基準として選考しておりますことと、この制度の周知につきましては、学校長を通じての周知や市の広報により行っておりますことを答弁させていただきました。次に、暴力、いじめ、不登校に関するご質問ということで、平成14年度の調査結果といたしまして、いじめ、暴力につきましては前年度より減少し、不登校につきましては前年度より増加しておりますことと、今年度から藤沢市相談指導教室に地域スクーリングサポートセンターを設置し、不登校にかかわるサポートシステムの整備と調査研究に取り組んでおりますことを答弁させていただきました。また、学校版環境ISOに関するご質問ということで、今年度、藤沢市立学校児童生徒版環境ISO検討委員会を設置し、検討しているところでございますが、来年度に試行校による実践を行い、平成17年度以降に全校で実施していく予定でありますことを答弁させていただきました。次に、国語科の取組みに関するご質問ということで、教育委員会といたしましては、指導主事による学校訪問における研究会や藤小研、藤中研の研究活動を支援しておりますことを答弁させていただきました。次に、学校教育ふじさわビジョン全般に関するご質問ということで、目的や策定経過に関する状況などをご説明し、教育委員のかかわりにつきましては、検討段階でビジョンの案を提示し、幾つかのご意見をいただき、ビジョンに反映させていただきましたことを答弁させていただきました。また、藤小研に関するご質問ということで、前年度に比べ出席率、加入率ともに増加しておりますことや、さまざまな研修により自己研鑽を行っている状況などを答弁させていただきました。次に、学力低下に関するご質問ということで、全国調査の結果、学習指導要領の内容につきましては、おおむね達成されているものの本市の行った学習意識調査の結果、学習意欲が低下傾向にありますことから、その改善に向けて努力してまいりますことなどを答弁させていただきました。また、県立高校の学区撤廃に関するご質問ということで、学区を撤廃することにより量的機会均等や質的機会均等の効果がありますことや、県民のニーズを受けたものと認識しておりますが、反面、受験競争の激化や地域とのつながりの希薄化への懸念、あるいは中学校の進路指導への影響等の課題があるものと考えておりますことを答弁させていただきました。次に、小中学校の耐震補強工事の促進に関するご質問ということで、耐震補強事業を学校施設整備の最優先課題として位置づけ、早期に整備が図られるよう積極的に事業を進めてまいりますことを答弁させていただきました。次に、生涯学習部の関係では、キッズ湘南の支援に関するご質問ということで、公共性の高い活動と認識しており、引き続き運営していただけるよう努めてまいりますとともに、指導員の確保につきましては、白浜養護学校で介護体験や教育実習などに参加された方々についての情報提供を行うことなどの支援をさせていただいておりますことを答弁させていただきました。次に、市民のスポーツ振興に関するご質問ということで、市からの受託事業を的確に実施するとともに、弾力的な事業の企画やその実施などを行い、経費の削減を図ることができたことなど、財団設立の効果があらわれておりますことを説明し、ふじさわスポーツ元気プランの概要説明などを関係団体に行っている最中で、本年度中に具体的な実施計画を策定する予定であることを答弁させていただきました。次に、三者連携事業に関するご質問ということで、教育委員会といたしましては、地域協力者会議の自主性を尊重しつつ、地域とのかかわりについて助言をしてまいりますことを答弁させていただきました。次に、平成14年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定についてご報告させていただきます。決算特別委員会におきまして、平成14年度における教育行政の歳入歳出にかかる内容を説明した後、質疑、討論を行い、採決の結果、認定され、本会議におきましても討論、採決の結果、認定されました。平成15年9月藤沢市議会定例会の報告は以上でございます。次に、情報公開請求についてご報告申し上げます。議案書の13ページをお開きください。請求1は、今後の学校給食運営の具体的な方向性を明確にすることを目的として設置された藤沢市学校給食検討委員会の記録の情報公開請求がありましたもので、公開したものでございます。請求2は、今後の学校用務員の業務のあり方について検討することを目的として設置された藤沢市学校用務員標準的職務内容検討委員会の記録の情報公開請求がありましたもので、公開したものでございます。以上



くらい目標が達成されているかという程度の検証も必要である。その検証結果、目的が余り達成されていなかった場合は試行期間を1年でなく2年にするとか、翌年度は試行校をもっとふやすというようなことも考えているのかどうか。また、長期休業を生かした学習について詳しく教えていただきたい。

学校教育課長

これまででは中学校を先行して試行していききたいということで、中学校長会等では実際に行っていた仙台市の学校に代表者を派遣して情報収集してきた中で、各学校ではシミュレーションをしてきた経過がございます。2学期制を導入することによってかなりのメリットがあります。1つは教職員の時間的、精神的なゆとりが、結果的には子どもたちの学習へのゆとりにつながっていくだろうということを考えております。これから試行校を募りますけれども、3分の1ぐらいが希望校として名乗り出てくるのではないかと予測しております。来年度試行ということで、1年間試行の結果を待てば次の年度へ生かされませんので、恐らく半年をめどに一定の検証結果を報告していただき、それを受けて各学校に検証結果を投げかけていきたくと思います。メリット、デメリットの部分で言うと当然デメリットの部分はあるのかと思うので、その辺はどうやって克服していけばいいのか、課題として残っているのかどうかも各学校に投げかけていきたくと思います。2年間の試行校も考えられるところではありますが、現在の段階では来年度の試行校の結果を踏まえて、各学校にその結果を投げかけていきたくと考えています。それから長期休業を生かした学習ということですが、今の段階では1学期、2学期、3学期と評価が出て長期休業に入るというパターンでございます。それが2学期制になれば、例えば夏休みが前期の中に入る。冬休みが後期の時間割の中に入るということで、休業中の時間を日々の学習活動を踏まえての休業に持っていけないか。それは子どもたちにとっては課題になるかもしれませんが、学習の連続という意味で研究の課題としていきたくと考えております。

委員

来年度から試行するということが予定されているが、メリットを生かしていければ子どもたちにとってはいいことだし、保護者には藤沢市独自のものを前面に出してお話すれば安心するし、わかってくれると思うが、具体的な案があるのかどうか。

学校教育課長

2学期制の導入をしたいという学校につきましては、3学期制と2学期制のシミュレーションを比較検討して1年間の流れというのは当然できております。2学期制を試行する上でこの時期でないとな来年度の計画が難しいということで、試行校を目指している中学校では検討結果を早く出してほしいというのが正直なところで、したがって、この決定を受け、各学校から希望校を募っていく。その後その希望校では保護者に対してどう説明していくかということで、11月、12月の保護者会を予定に入れて、内容も含めて検討しておりますので、保護者には理解していただけるのではないかと考えております。ご指摘のシミュレーションということでは、例えば中体連の試合は7月の下旬に行われるわけですが、そういったシミュレーションも各中学校同士で検討会をしておりますので、スムーズに流れると思っております。

委員

21世紀の教育改革の一環として、学校教育をいかに充実していくかということの1つだと思うが、2学期制の導入は他の自治体で試行しているところもあると思うが、よその自治体の結果を見て、どういうメリット、デメリットがあるのか。もう1つは藤沢市独自の2学期制ということで、試行校を決めてやるときに、藤沢市のオリジナルな2学期制の導入の仕方、よその自治体にはないような行事を設けるとか、そういうことが試行の中に入れられるのか。オリジナリティーのある子ども、個性のある教育をお願いしたい。それに加えて21世紀の子どもたちが国際社会で生きるための行事を藤沢市としてやれるのかどうか。昔のままのものを2学期制に当てて文化祭をやったり、運動会をやったり、ほかの授業も長くしてやっていくのではないビジョンがあるのかどうか。藤沢市として考えているのかどうか伺いたい。課題の4の長期休業を有効に利用し、学習の連続性を維持するというのは、ゆとり教育の中で総合学習が入りすぎて先生の負担が多くなるといけないと思うが、その辺はどうなのか伺いたい。

学校教育課長

2学期制を試行されている市の成果については、効果の部分に書いてあるような報告はいただいております。どこの市も課題として挙げられるのは同じですが、授業時間が少なくなってきた、授業時数の確保が困難になってきたために行事の精選が続けられてきたという経過もあります。例えば専門家を呼んでの音楽会と演劇会を隔年でやっていた学校では、午後の半日を保障するためにやめてきたという事情もあります。体育祭についても昔に比べて単純な競技ばかりになってきたのではないかとこの議会でもご指摘もありましたが、それは体育祭をつくるための準備時間を削減したために競技ばかりになってきて組み体操といったものが少なくなってきたというご指摘もあります。そういった意味では元へ戻っていく文化芸術に触れる

活動も多くなるだろうし、中学校の音楽会は昨年度まで2日間連続して行ってきたわけですが、授業確保ということで今年度は1回になっているわけです。そういうところではかなり授業時間の確保という観点でさまざまな削減が行われてきた事情があります。そういったものがある面では復活していくのではないかと思います。それから長期休業中ということで、今までですと夏休みに入る前は学校で評価が出て、それをもとに自分たちでこの評価結果を受けて頑張りなさいということであったけれども、これからはもう少し長いスパンで長期休業も授業の一部とはいって指導助言をする場面を設けていく。これは強制ではなくて希望者に対してそういう場面を設けていく。そういう実践はもう既に行われているのです。そういったものが試行校の中で行われていくのではないかと思います。21世紀を担うということで藤沢市のオリジナリティーということでは、学校教育ふじさわビジョンを策定した理念がどう学校の中で位置づけられて、普段の授業の中に生かされていく。あるいは行事の中でどのように反映されて、どのような子どもが育っていくかというのが大きな課題であろうと思っております。その辺につきましましては、学校教育課と各学校が連携し合って今後十分に詰めていきたいと考えております。

委員 十分検討していただいて、ディスカッションする基礎がないと当たり前前の2学期制になってしまうから、大いに議論してほしい。

委員

藤沢市のオリジナリティーというのは大変大事なところだと考えているが、この2学期制の問題は今の日本の状況だと、国が一律にこうするという課題ではなく、地域や学校の実情に応じて教育委員会が決めていくといった課題であろうと受けとめていて、藤沢の2学期制というのはいかようなものなのかというようなところを吟味していく必要があるかと思う。先ほどの説明でも学校教育ふじさわビジョンからスタートしておいたし、ビジョンとのかかわりの中でオリジナリティーを出していくというような考え方が示されているので、ぜひそうでありたいと思う。学校教育ふじさわビジョンの具現化との関係で2学期制の効果を検証していく視点を大事にする必要がある。例えば新しい知を育むということを行っているけれども、そのことと2学期制とのかかわりをどういうふうにとらえていくか。あるいはふじさわビジョンが目指すところの教育というのは、人と人あるいは人と自然あるいは学校と地域・家庭といったものとの関係を育むということをかなり大事な柱にしている。そういったことと2学期制とのかかわりということ視野に入れて検証していく。あるいはビジョンの中で目指す子ども像をうたっているわけですから、それを具現化していくことと2学期制とがどうかかわっていくのかというようなこと、さらにいえば目指す教師像を具現化していくことと2学期制とのかかわりといった具体的な柱を視野に入れながら、藤沢の2学期制を試行していくわけなので、できるだけ肯定的に良さというのを打ち立てていきたいと思う。教師のあるべき姿として学びをデザインする教師という1つの大きな柱があるけれども、まさに新しい2学期制という制度が入ってくれば新しい2学期制の中でいかに学びをデザインするか。つまりデザインという概念の中に2学期制を取り込んで検証していくといったような視点で迫っていくということから藤沢らしさが生まれてくるだろうし、また、ビジョンを打ち出した以上、そこからつくり出していかねばいけないのではないかと考えます。

学校教育課長

ご指摘のとおり、学びをデザインする教師、それから目指す子ども像として自分を生かし、人に役立つ子どもたちというのは日々の教育活動の中で綿々として行われているものと考えます。このような姿に学校が変わっていくということが今求められていると思います。毎日の授業の積み重ねが最終的に学校評価ということになってくるだろうと思います。したがって各学校にはこのビジョンを提起してありまして、各学校では各学校の教育方針を立てております。それに向けてそれぞれの地域の人たち、保護者あるいは生徒を巻き込んでの評価も行われるということが考えられます。現在、学校評価検討委員会ではそういうことも含んで検討しております。何か学校側から情報を発信して、それを地域の方々が考える、意見を言う。そういった場面でまた新しい学校づくりが始まっていくと考えております。ビジョンを根底に据えた学校経営を学校教育課と学校と連携してまいりたいと考えております。

委員

39万都市藤沢市に該当するような市が2学期制を実施しているという情報は入っていたらお聞かせいただきたい。

学校教育課長

静岡市は静岡市と清水市が合併した市で、小学校85校ということでは藤沢市と同じような規模の市ですが、そこでの話を聞くと、中学校の方の希望が根底にあったということで、2学期制の方がいいのではないかと検討して行って、各学校の希望を募ったら実際には小学校の半分以上が手を挙げて、中学校が半分ぐ

ら이었다ということ、来年度は全校試行を目指していきたいというお話でした。この段階でそういう方向性が出ているということは、結果的に静岡市教育委員会では2学期制がかなりの効果があるというふうに判断しているのではないかと考えております。

委員 本市では小学校は2学期制を試行するところまで行っていないので、次々年度試行ということなのか。ほかに何か理由があるのかどうか。

学校教育課長 先に中学校から声が上がってきたのは授業時間の確保ということが最大の理由だと思います。その中で行事を切り詰めてきたという経過の中で、また授業時間の確保もしなければならないということで、かなりしわ寄せがきているという全国的な状況があったのだらうと思っております。現在小学校では標準時間を超えて授業時間が確保されているので、どういうメリットがあるのかという議論ができていなかったという状況があります。したがって、中学校でぜひともやっていきたいというのが先に出てきて、小学校については、議論が十分でないというのが実態でありますので、検討委員会の中でこの半年間、それから次年度の半年間の中で十分議論してまいりたいと考えております。

委員 静岡市では中学校より小学校の方が手を挙げた特別な理由があるのか。

学校教育課長 静岡市の場合、先行的に各学校で評価の2学期制みたいなものを実験的にやっていたという経過があるので、中学校の方から2学期制はどうかという声が大きくなってきたということで、検討して2学期制を導入すると言ったら小学校の方が多くなってきた。これは担当の指導主事から言わせると、中学校の方でやってほしい、やりたいという声が上がってきたのに、いざ、どこでもいいといった場合、小学校の方が多くなったのにちょっとびっくりしていたという話です。したがって、2学期制が小学校教育に与える影響もかなりメリットの部分としてあるのではないかと考えております。我々としては先行市の仙台、金沢、静岡において、小学校での実践課題、実践研究を参考にして、情報提供して検討委員会の中で検討してまいりたいと考えております。

委員長 ほかにありませんか。特にないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

委員長 以上で、本日予定いたしました公開で審議する案件はすべて終了いたしました。それでは、次回定例会の期日を決めたいと思います。11月7日(金)午後2時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催することといたしております。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、次回定例会は、11月7日(金)午後2時、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。以上で、本日の公開による審議の日程はすべて終了いたしました。

午後2時55分 休憩